



文化ふっかつ新開!

第34回 国民文化祭・にいがた2019
第19回 全国障害者芸術・文化祭にいがた大会

平成30年度にいがた文化の記憶館企画展示

応援事業

ボーダレス文学世界 大衆文学編

姓は丹下、名は左膳



2018年 11/23 金・祝 → 2019年 2/11 月・祝

開館時間 / 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
休館日 / 月曜日(12月24日、1月14日は開館)、12月25日[火]、
12月28日[金]～1月3日[木]、1月15日[火]
入館料 / 一般500円、学生(高校生以上)300円、**中学生以下無料**
※20名以上の団体、または「MINIATURE LIFE展 ～田中達也 見立ての世界～」のチケットご提示で各料金から2割引

主催 / にいがた文化の記憶館、新潟日报社
共催 / 新潟日報美術振興財団、NIST、BSN新潟放送
協力企業 / 田村紙商事株式会社
展示協力 / 佐渡市立佐渡博物館、赤泊郷土資料館、
新潟市立中央図書館、新潟市立黒崎図書館、
佐藤隆コレクション



にいがた文化の記憶館

新潟日報メディアシップ5F
TEL.025-250-7171

ボードレス文学世界 大衆文学編

かつて菊池寛は「作家が書きたくて書いているのが純文芸で、人を悦ばすために書いているのが大衆文芸だ」と述べました。明治から昭和初期にかけて「文学」といえば「純文学」を意味し、読者の多くは知識人でした。1926年の雑誌『大衆文芸』発刊をきっかけに、「純文学」に対抗する形で「大衆文学」が誕生しました。

この分野で名を残しているひとりが長谷川海太郎（1900 - 1935年、佐渡市）です。長谷川は3つの筆名（谷譲次・牧逸馬・林不忘）を用いて武芸者物などの時代小説や探偵小説、体験記を発表しました。なかでも、筆名・林不忘で書いた『丹下左膳』が大ヒット。隻腕隻手のニヒルなヒーローは幅広い世代を魅了し、映画化されました。

後進の時代小説家に山岡荘八（1907 - 1978年、魚沼市）がいます。山岡の『徳川家康』はビジネスマンに愛読された長編小説で、大河ドラマにもなりました。

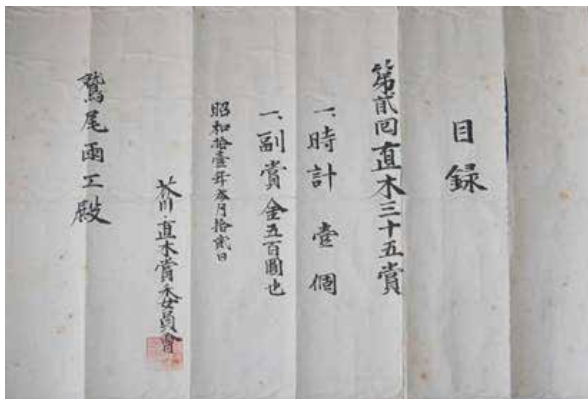
1930年代に、大衆文学は日本文学の1ジャンルとして確立します。この頃、菊池寛が創設したのが芥川賞と直木賞でした。大衆文学を対象とする直木賞を受賞したのが、鷲尾雨工（1892 - 1951年、新潟市・小千谷市）、綱淵謙錠（1924 - 1996年）、野坂昭如（1930 - 2015年）、阿刀田高（1935年 - ）です。

大衆文学に、現代を舞台とする小説も含まれるようになります。少女小説から恋愛小説、特に女性の一生をモチーフに執筆したのが吉屋信子（1896 - 1973年、新潟市）でした。無頼派作家・坂口安吾（1906 - 1955年、新潟市）の守備範囲は広く、純文学から、探偵ものや時代小説まで執筆し、ボードレスな活躍をしました。

本展では、大衆文学の分野で活躍した新潟県出身またはゆかりの小説家たちを資料とともに紹介します。



志村立美画／林不忘（長谷川海太郎）著『丹下左膳 こけ猿の壺』扉絵 1934（昭和9）年刊より



鷲尾雨工宛て直木賞受賞の目録（1936年）新潟市立黒埼図書館蔵



山岡荘八筆色紙「菊ひたし」当館蔵



坂口安吾『明治開化安吾捕物帖第一集』（1953年刊）新潟市立中央図書館蔵

関連イベント

月いちレクチャー（学芸員による解説会）

「ボードレス文学世界 大衆文学編」

- ① 11月24日 ⊕ 「3つの筆名を持つ作家 長谷川海太郎」
- ② 12月22日 ⊕ 「大衆文学の広がり」と県人作家たち」
- ③ 1月19日 ⊕ 「直木賞作家 鷲尾雨工」

各回とも、午後2時から（約1時間）

会場／にいがた文化の記憶館 展示室

参加費／無料（当日の入観券が必要）

※ パスポート会員は不要

※ 事前申込み不要（当日は直接当館へお越しください）

にいがた文化の記憶館
次回展示
良寛再発見

2019.
2/22（金） → 3/21（木）祝

會津八一記念館のご案内
八一を知る 八一がわかる
— そのマルチな業績と人生 —

2018. 2019.
12/20（金） → 3/24（日）

※ 展覧会名やイベント名は仮称です。会期や事業の内容などは変更することがあります。

NMCMC にいがた文化の記憶館
Niigata Memorial Museum of Culture

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報メディアシップ5階
TEL. 025-250-7171 FAX. 025-250-7040
URL. <http://nmcm.jp>

～ご来館のお客様へ～

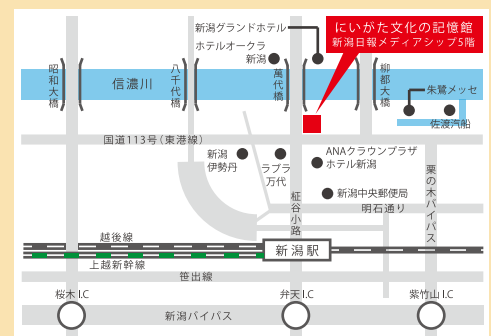
開館時間（10:00～18:00、月曜休館）
以外は、新潟日報メディアシップ
のエレベーターは5階に止まりま
せんので、ご注意ください。

交通のご案内

新潟駅から タクシー約5分 徒歩約15分
新潟空港から タクシー約15分

駐車場のご案内

メディアシップ駐車場（24時間）
220円／30分（夜間最大料金あり）
時間貸しスペースは3、4階（77台）です。
万代シティ共通駐車サービス券をご利用いただけます。
当館では駐車券の無料券を発行していません。予めご了承ください。
周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。



割引券
一般・学生・高齢者
料金
■ 特別企画展2会場同時開催時
■ 他館の割引に併用不可
■ 各種団体
料金
(切取不可)
WEB版